

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Aプラス児童デイサービスみずほ台			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日		～	2025年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		～	2025年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 29日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月ごとのイベントをたくさん企画し、それを楽しみにスポット利用してくれる児童が増えたこと。	子どもたちにどんなことをやってみたいかを聞いて、反映できることはイベントや企画で行っている。イベントの日程表を作成し、前月までに渡している。外出イベントも計画するようになり、イベントのバリエーションが増えた。	引き続き子どもたちが楽しめるようなイベント・企画を職員間で協力して考えていく。
2	就労に向けた活動として、作業レクとSST学習を行っていること。	作業レクでは、実際に作業所などで行われている作業などを取り入れ、学校の実習に繋がったり、就労に向けて少しでもできることを増やし、伸ばせるように取り組んでいる。SST学習では、個々の児童の課題に沿ったテーマのものを取り入れたり、楽しく学べる活動なども取り入れている。	コロナ前までは取り組んでいた実際の作業所への体験・見学を再開していきたい。
3	施設での活動の様子などを保護者に見てもらおう参観日を作ることができた。	今まで保護者に施設で児童が過ごしている様子を見てもらおう機会が全然なかったので、7年目を迎えて事前に告知をし、参観を開催した。	一回で終わるのではなく、また開催してほしいという要望もあるので、継続して参観を開催していき、児童がどのように過ごしているのかを保護者に見てもらえるように取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	勤務日数が少ない職員へのフォローが不十分である。	職員会議や朝礼、申し送りなどで情報共有できるようにしているが、どうしても情報が抜けてしまうことや支援内容の把握に遅れができてしまっている。	限られた時間ではあるが、勤務日数が少ない職員に対して足りない部分を補えるような研修や面談などを設ける。また職員全体の質の向上、レベルアップも必要なため、会議や研修を通してより良い支援ができるように取り組んでいく。
2	通信などで避難訓練を行ったことを載せたり、連絡帳や送迎時に伝えているが、訓練を行っていることが認知されていない部分があること。	頻繁に訓練を行っているわけではないので、訓練を行う日にかぶらない児童がどうしても出てきてしまう。保護者向けの171訓練も、保護者の方が忙しかったりして、参加できていない保護者もまだ多い。	できる限りいろんな児童が訓練に参加できるように(訓練日に参加できなくても、SST学習のテーマで取り入れるなど)、計画をしていく。
3	訓練だけでなく、施設を安全に運営するためにどんなマニュアルがあったり、計画をもとに運営されているかが十分には保護者に伝わっていないこと。	送迎時など保護者とのコミュニケーションの中で、あまり話題に出る部分ではないので、伝える機会が少ないのが現状である。	保護者との面談時に、施設を安全に運営するための計画やマニュアルについて改めて伝えて、理解を深めてもらう。